

三芳合金工業 ドローベンチ更新 納期対応力など強化、省人化も

銅合金の鍛造品や押
出品などを製造する三
芳合金工業(本社・埼
玉県三芳町、社長・萩
野源次郎氏)は、抽伸

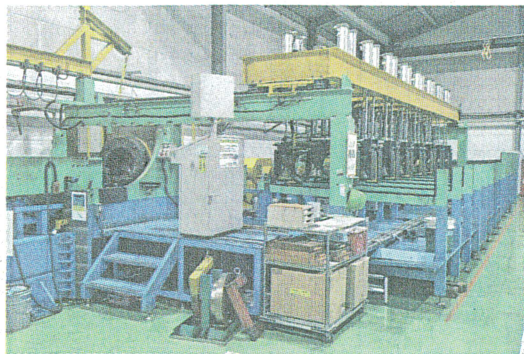
・引抜加工などを行う
ドローベンチを202
5年度の上期中をめぐ
りに更新する。細物の棒
・管などを製造する朝
霞工場(埼玉真新座市)

実施。投資額は工事な
どを含めて総額数千万
円規模となる。
朝霞工場のドローベ
ンチは核融合実験炉用
の冷却管や航空機軸受
け用の円筒形素材、溶
接電極用の材料などの
製造に用いる。現有機
は導入から40年程度が
経過。更新により補修
部品が入手しやすくな
るため、安定供給体制

が強化される。
中古で導入する新設
備は100トタイプの
ドローベンチ。加工ス
ピッドが一定になるほ
かレールによりブレを
抑える機構を備えてい
ることなどが特長。製
品の寸法精度などを高
めることにより、歩留
まりを向上できる。
また中間製品のセッ
トなど段取り効率が高

工場建屋の一部改築も

く、省人化にも寄与。
さらにモータのパワー
が現有機よりも強いこ
とから、金属組織の制
御がしやすく製品強度
などを高められる可能
性もあるという。
新設備は拡張機能も
備えている。同社では
当面は拡張機能は使用
しない予定だが、その
活用により製造可能な
サイズを広げること
も将来的には視野に入れ
ている。



①、細物の棒・管などを担当する朝霞工場
導入予定の設備は一定速度でブレを抑えて加工できる